安全データシート(SDS)

1. 製造者情報

会社名	株式会社エーゼット
所在地	大阪市鶴見区茨田大宮 1-7-59
担当者	営業部
電話番号	06-6915-3501
FAX 番号	06-6915-1202
緊急連絡先	住所に同じ
作成日	2013/03/08
改訂日	2018/11/21

製品名：AZ パーツクリーナーブラック原液

---

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	
引火性液体	区分 2
健康に対する有害性	
皮膚腐食性・刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A
生殖毒性	区分 1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（神経系、肝臓）
吸引性呼吸器有害性	区分 1
環境に対する有害性	
水生環境有害性（急性）	区分 2

※上記の項目で「区分外」、「分類できない」、「分類対象外」のいずれかに該当するものは記載省略

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語　危険

危険有害性情報

H225:　引火性の高い液体及び蒸気
H315:　皮膚刺激
H319:　強い眼刺激
H360:　生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H335:　呼吸器への刺激のおそれ
H336:　眠気またはめまいのおそれ
H372:　長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害(神経系、肝臓)
H304:　飲み込んで気道に侵入すると生命の危険のおそれ
H401:　水生生物に毒性

注意書き

応急措置　p.2 に記載
取り扱い　p.2 に記載
保管　p.2 に記載
廃棄　p.3 に記載

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
成分及び含有量	石油系溶剤(75～95%)、エタノール(5～20%)
化学式または構造式	混合物のため特定できない
国連番号及び国連分類	1993、クラス 3
ＣＡＳ Ｎｏ.	企業秘密のため非公表

4. 応急措置

吸入した場合：	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合:	口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。
眼に入った場合:	水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合 固着してなければ外す。十分、洗浄後、医師の手当を受ける。
皮膚にかかった場合：	水と石けんで十分、洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯する。 腫れ、痛みが生じる場合、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法：	速やかに容器を安全な場所に移す。 消火に棒状の水を使用してはならない。 初期の消火には下記の消火剤を用いる。
消火剤:	霧状強化剤、粉末、炭酸ガス

6. 漏出時の措置

保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。
風上から作業する。
砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。
土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。
浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源になるものは速やかに取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。

取り扱い：	製品の使用中、飲食および喫煙しない。 熱、火花、火炎、高温のものから遠ざける。 必要に応じて呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。 屋外または通気性が良い場所で使用する。 常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液との接触に注意する。 使用後は手洗いを十分する。
保管:	屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。 ふたを必ず密閉する ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)
石油系溶剤	設定されていない	設定されていない	500ppm
エタノール	設定されていない	設定されていない	1000ppm

設備対策	排気装置を設けるか通気性を良くする。 身体洗浄、うがいができる洗浄設備を設置する。
呼吸用保護具	必要であれば防毒マスクを着用する。
保護眼鏡	必要であれば着用する。
保護手袋	長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。

	保護衣	長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	無色透明液体
揮発性	あり
蒸気圧	データなし
密度	約 0.70g/cm^3(15℃)
溶解度	水に難溶
引火点	-30℃以下
発火点	データなし
爆発限界	データなし

10. 安定性及び反応性

可燃性	引火しやすい。 蒸気は低所に滞留し、地表面に添って移動し、着火源があると引火爆発を起こす恐れがある。
安定性	安定
反応性	強酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報

刺激性	眼に対して蒸気、液ともに刺激性があり、皮膚に対しても刺激性がある。繰り返しの接触により脱脂症状を生ずる。
急性毒性	経口：石油系溶剤 LD_{50}=19634mg/kg 以上(ラット) エタノール LD_{50}=7060mg/kg(ラット)
慢性毒性	有用なデータなし。
発がん性	エタノール：IARC の見解ではアルコール性飲料としてヒトに発がん性があるとしてグループ 1 に分類している。 ACGIH の見解では主として作業環境での有害性因子としてヒト発がん性に分類できない物質ということで A4 に分類している。
感作性	有用なデータなし。
変異原性	有用なデータなし。
催奇形性	有用なデータなし。
生殖毒性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。

12. 環境影響情報　分解性、蓄積性、魚毒性：混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。

13. 廃棄上の注意　廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号　1993
国連分類　クラス 3
容器等級　Ⅱ
輸送時には「取扱いおよび保管上の注意」の項に記載した内容に留意するほか容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。
さらに関連法令に従った措置も講じる。

15. 適用法令

消防法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第 4 類第 1 石油類　危険等級Ⅱ
海洋汚染防止法・・・・・・・・・・・・・・・油分排出規制（原則禁止）
廃棄物の処理および清掃に関する法律・・・産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）
労働安全衛生法・・・・・・・・・・・・・・・通知対象物：ヘキサン、エタノール
表示対象物：エタノール
ＰＲＴＲ法・・・・・・・・・・・・・・・・・非該当

16. その他

参考文献

1.化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)改訂 6 版 (2015)
2.日本規格協会 JIS Z 7253:2012、JIS Z 7252:2014
3.独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) [GHS 関連情報]
4.各原料の SDS

注意事項

この安全データシート(SDS)は入手可能なデータをもとに通常の取り扱いを想定して作成したものです。
SDS は安全の保証を約束するものではありません。
取扱者は状況に応じて使用してください。
SDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。